

令和2事業年度

決 算 報 告 書

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

国立大学法人熊本大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,539	14,661	122	(注1)
施設整備費補助金	2,220	1,663	△ 556	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	693	2,172	1,479	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	—	
自己収入	37,102	36,581	△ 520	
授業料、入学料及び検定料収入	5,983	5,500	△ 482	(注4)
附属病院収入	30,260	30,207	△ 52	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	859	873	14	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,508	5,356	△ 151	(注7)
引当金取崩	—	28	28	(注8)
長期借入金収入	709	526	△ 182	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	955	1,000	45	(注10)
計	61,764	62,028	264	
支出				
業務費	49,825	49,011	△ 813	
教育研究経費	18,925	18,834	△ 90	(注11)
診療経費	30,900	30,176	△ 723	(注12)
施設整備費	2,967	2,228	△ 738	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	693	1,795	1,102	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,508	5,111	△ 396	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,771	2,717	△ 53	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	61,764	60,864	△ 899	
収入-支出	—	1,164	1,164	

○予算と決算の差異について

- (注1) 特殊要因運営費交付金等の追加配分のため、予算額に比して決算額が122百万円多額となっています。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が556百万円少額となっています。
- (注3) 新型コロナウイルス感染症関連の補助金獲得により、予算額に比して決算額が1,479百万円多額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免交付金が376百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料徴収対象者数の減に伴う授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が482百万円少額となっています。
- (注5) 患者数の減等により、予算額に比して52百万円少額となっています。
- (注6) 自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。
- (注7) 受託研究費等の受入減により、予算額に比して決算額が151百万円少額となっています。
- (注8) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっています。
- (注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が182百万円少額となっています。
- (注10) 事業計画の変更により、予算額に比して決算額が45百万円多額となっています。
- (注11) 経費節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が90百万円少額となっています。
- (注12) 経費節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が723百万円少額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が738百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,102百万円多額となっています。
- (注15) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が396百万円少額となっています。
- (注16) 利息の変更等により、予算額に比して決算額が53百万円少額となっています。